令和 7年度　幼稚園における自己評価

ルーテル羽村幼稚園

担当　チーム保育　　名前

A，B，C，D,の４段階評価。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

【項目】	【内容】	【自己評価】				【意見・改善策】
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	（1）園の教育理念や教育方針を理解している	○				キリスト教・聖書をもっと知りたいと思っている。　ここ数年間考えて、近所の教会へ出かけてみようと思っています。
	（2）園の教育方針に共感している		○			
	（3）園の目指す幼児の姿を具体的にイメージ出来る	○				
	（4）目標は前年度の反省を生かしているか。	○				
指導計画について	（1）園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている	○				チーム保育担当の為、各クラスの指導計画に目を通し、変更等は職員会議や日々の話し合いで共有出来ていると思う。
	（2）指導計画は幼児の実態に即して作成しているか。	○				
	（3）指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子・予想されるこれからの生活などを考慮して作成している	○				
	（4）指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直し、幼児の実態に対応できるよう作成している	○				
	（5）短期の指導計画は自由に変更できるよう順応性のあるものにしている	○				
	（6）指導計画は幼児の生活が豊かになるよう、幼児の実態に合わせている	○				
環境の構成	（1）安全で清潔感のある環境構成をしている		○			2F保育室を整頓したいと思っています。遊びは、園庭や保育室を工夫してうまく活用できていると思う。
	（2）幼児が自ら活動を展開していける様な場や空間を構成している	○				
	（3）遊びに必要な遊具や、用具の質、数量を配慮して用意している	○				
	（4）楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている	○				
	（5）幼児の発想を柔軟に取り入れている	○				
	（5）幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている	○				
	（6）異年齢の幼児が自然に交流できるよう環境構成をしている	○				

保育・教育の評価・反省	（1）自分の教育・保育の計画の評価・反省を行うようにしている	○				絵本やパネルシアターの研究を深めたいと思っている。　職員間で、日々話し合う事を大切にできていると思う。
	（2）評価・反省を次の教育・保育に生かせるよう行っている	○				
	（3）職員が互いに保育を検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育に繋げている	○				
健康と安全への配慮	（1）朝の登園時は視診を大切にし幼児の体調を確かめている	○				
	（2）幼児の体調が悪そうな時は静かに寝かせたり、検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡をしている	○				
	（3）怪我や事故には特に気を付け、年齢に応じた適切な環境構成や言葉がけをおこなっている	○				
	（4）園内に危険な個所がないか、危険な遊び方がないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかを常に観察している	○				
	（5）危険が予測される場合は、幼児たちと一緒に見たり、考えたりして安全な使い方。遊び方について気づくことが出来るようにしている	○				
幼児の理解	（1）一人ひとりの幼児をよく観察するよう心掛けている	○				
	（2）幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている	○				
	（3）幼児同士の関わりの中で心の動きについても推察するようにしている	○				
	（4）一人ひとりの幼児をじっくり見ながら、周囲にも目を向けるよう心掛けている	○				
	（5）幼児たちが今、興味・関心を持っていることを気づくことが出来る	○				
	（6）幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている	○				
	（7）幼児の理解のために保護者と話し合う事がある	○				
	（8）幼児の姿を家庭での生活をふまえて理解している	○				
保育の在り方・幼児への対応	（1）幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている	○				一斉保育への集合が遅れる児童に対して、急ぐよう言葉かけすることはあった。
	（2）幼児とのスキンシップをとる様にしている	○				
	（3）幼児一人ひとりの良さを認めるようにしている	○				
	（4）幼児の話をよく聞くようにしている	○				
	（5）幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している	○				
	（6）幼児が行き詰っている時に適切な援助を行っている	○				
	（7）幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている	○				
	（8）幼児を誉めたり、励ましたり、目当てをもたせるような言葉かけをしている	○				
	（9）禁止・行動を急がせたり，自信を失わせる言葉や態度は控えている		○			
	（10）"一人ひとり"と"みんな"の関係を常に考えながら関わっている	○				

	（１１）幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている	○				
保育者同士の連携	（１）クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている	○				近年、要配慮児童が増えてきているように感じる。もっと。出来る事が私にあるように思う。
	（２）幼児の事について常に保育者同士で話し合い、クラスをこえて情報を共有している	○				
	（３）教師全員が、すべての園児についてある程度理解できるようにしている	○				
	（４）指導上配慮を必要とする幼児については全体でよく話し合い、共通理解をもって対応するようにしている		○			
	（５）異年齢の幼児とも触れ合うよう工夫をしている	○				
	（６）担任教諭・チーム保育教諭が連携をし、日々の教育・保育や行事に向けて準備や進行を行えるようにしている	○				
その他	（１）保護者には子どもの様子を直接話したり、電話・連絡帳を使って伝えあっている	○				研修を受ける時期を自分でもっと計画性をもちたいと追っている。
	（２）保護者には、自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞くようにしている	○				
	（３）研修は自己課題をもって積極的に受けている		○			
	（４）教職員全員でひとつのチームであることを意識している	○				

令和 7年度　幼稚園における自己評価

ルーテル羽村幼稚園

担当　主任・チーム保育　　名前

A，B，C，D,の４段階評価。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

【項目】	【内容】	【自己評価】				【意見・改善策】
		A	B	C	D	
保育・教育目標	（1）園の教育理念や教育方針を理解している	○				
	（2）園の教育方針に共感している	○				
	（3）園の目指す幼児の姿を具体的にイメージ出来る	○				
	（4）目標は前年度の反省を生かしているか。	○				
指導計画について	（1）園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている					
	（2）指導計画は幼児の実態に即して作成しているか。					
	（3）指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子・予想されるこれからの生活などを考慮して作成している					
	（4）指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直し、幼児の実態に対応できるよう作成している					
	（5）短期の指導計画は自由に変更できるよう順応性のあるものにしている					
	（6）指導計画は幼児の生活が豊かになるよう、幼児の実態に合わせている					
環境の構成	（1）安全で清潔感のある環境構成をしている			○		定期的に園内の清掃や整理を行っているが忙しい時期になると玄関周りやプレイルーム・さくらの部屋・ホールなど雑然としたり清掃が行き届かなかったりすることがあるので意識的に行っていく。また、事務所内遊びの会の資材や私物など雑然としているので、整理整頓を心がける。
	（2）幼児が自ら活動を展開していける様な場や空間を構成している		○			
	（3）遊びに必要な遊具や、用具の質、数量を配慮して用意している		○			
	（4）楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている	○				
	（5）幼児の発想を柔軟に取り入れている	○				
	（5）幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている		○			
	（6）異年齢の幼児が自然に交流できるよう環境構成をしている	○				
保育の評価・反省	（1）自分の教育・保育の計画の評価・反省を行うようにしている		○			
教育	（2）評価・反省を次の教育・保育に生かせるよう行っている		○			
	（3）職員が互いに保育を検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育に繋げている	○				
健康と	（1）朝の登園時は視診を大切にし幼児の体調を確かめている	○				こちらからの声掛けだけではなく、遊び方や緊急時の対応などに、子どもたちが自身が考えて行動出来るように、年齢に応じた言葉がけを意識的に行って行きたい。
	（2）幼児の体調が悪そうな時は静かに寝かせたり、検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡をしている	○				

安全への配慮	（3）怪我や事故には特に気を付け、年齢に応じた適切な環境構成や言葉がけをおこなっている	○				
	（4）園内に危険な個所がないか、危険な遊び方がないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかを常に観察している	○				
	（5）危険が予測される場合は、幼児たちと一緒に見たり、考えたりして安全な使い方。遊び方について気づくことが出来るようにしている		○			
幼児の理解	（1）一人ひとりの幼児をよく観察するよう心掛けている	○				
	（2）幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている	○				
	（3）幼児同士の関わりの中で心の動きについても推察するようにしている	○				
	（4）一人ひとりの幼児をじっくり見ながら、周囲にも目を向けるよう心掛けている	○				
	（5）幼児たちが今、興味・関心を持っていることを気づくことが出来る		○			
	（6）幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている	○				
	（7）幼児の理解のために保護者と話し合う事がある		○			
	（8）幼児の姿を家庭での生活をふまえて理解している	○				
保育の在り方・幼児への対応	（1）幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている	○				今年度もじっくりと子どもたちと関わる時間の難しさを感じたが、一人ひとりの心に目を向け、子どもたちの気持ちに寄り添いながら自身で考え行動していける言葉かけを意識していきたい。
	（2）幼児とのスキンシップをとる様にしている	○				
	（3）幼児一人ひとりの良さを認めるようにしている	○				
	（4）幼児の話をよく聞くようにしている		○			
	（5）幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している		○			
	（6）幼児が行き詰っている時に適切な援助を行っている	○				
	（7）幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている		○			
	（8）幼児を誉めたり、励ましたり、目当てをもたせるような言葉かけをしている	○				
	（9）禁止・行動を急がせたり，自信を失わせる言葉や態度は控えている		○			
	（10）"一人ひとり"と"みんな"の関係を常に考えながら関わっている	○				
	（11）幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている	○				
保育者同士の連携	（1）クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている	○				副主任の発案から、副園長と相談し今年度「絵本ミニシアター・蒲蒲湯・ゆず湯」など担任と子どもたちが季節を感じたり、じっくりと同じ時を共有したりできる機会を作った。担任が準備片付けなどに気にせずに子どもたちとのびのび過ごせる時間を作れたと感じた。次年度も担任と子どもたちがじっくりと過ごせる時間を作っていきたい。また、保育の中で新しい提案を出せる環境をこれからも大切にしたい。
	（2）幼児の事について常に保育者同士で話し合い、クラスをこえて情報を共有している	○				
	（3）教師全員が、すべての園児についてある程度理解できるようにしている	○				
	（4）指導上配慮を必要とする幼児については全体でよく話し合い、共通理解をもって対応するようにしている	○				
	（5）異年齢の幼児とも触れ合うよう工夫をしている	○				
	（6）担任教諭・チーム保育教諭が連携をし、日々の教育・保育や行事に向けて準備や進行を行えるようにしている	○				

その他	（1）保護者には子どもの様子を直接話したり、電話・連絡帳を使って伝えあっている	○				自己課題を持って研修を受けられていないので今後意識して受講していく。
	（2）保護者には、自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞くようにしている	○				
	（3）研修は自己課題をもって積極的に受けている			○		
	（4）教職員全員でひとつのチームであることを意識している	○				
	（5）遊びの会		○			今年も遊びの会参加から入園につながった家庭があったが、全体的な参加人数が去年よりも少なかった。SNSでの周知・児童館、市役所でのポスター掲示を継続しながら、新しい保護者が雰囲気を知り参加しやすい様に、遊びの会を開催している様子をSNSに載せていく。予約が必要な遊びの会に気軽に参加しやすいように電話予約だけではなくSNSでの予約をできるようにする。 今年度、当初「製作・リトミック・体操・お祭りごっこ」で遊びの会の内容を年間で決めていたが、途中製作の日に「ひかりと影あそび・お花紙あそび・ミニ絵本シアター」など体験系の内容に変更し行った所好評であった為、次年度は最初から親子体験の内容を入れ年間スケジュールでの事前告知を行う。 給食試食会の際、今年度から「今日の給食のメニュー、月の献立」をまとめたプログラムを作成し参加者に配布したが、好評だった為次年度も継続して行う。 ・遊びの会に向けての準備、室内整備など副主任主導でお願いすることが多くなってしまっているので、負担が増えてしまわない様に計画的に準備や室内整備を行う。
			○			6月から開設し定期的に投稿していたが、途中投稿が止まってしまう時期があった為、継続して投稿出来るようにする。 現在、月に8回・週2回の投稿を目標に行っている。閲覧数・フォロワー数ともに増えているので、今後も現在の投稿方法で継続していきたい。
	（7）写真掲載	○				園内掲示からネット販売になり、年3回の販売から年12回の販売回数に増え保護者の方に園での子どもたちの様子を知っていただく良い機会になっていると感じる。 購入数も以前と比べとても多く、今後とも継続出来るように行う。 掲載準備・NASサーバーへの写真保管移行・ブログ更新と掲載を初めてから流れを決めた為、上手くまとめられないまま始動し掲載が滞っている時期があった。3月いっぱいで今年度の作業が終えられるように進めていき、新年度期持ち越さずに始められる様にする。

	（8）ホームページ更新			○		新しい写真販売の移行・インスタ開設に伴い更新が止まってしまっていた。インスタの開設もあり併用をどうするか考えたが、ホームページでの更新を楽しみにしているとの声もあったので、今年度分を3月いっぱいで終わらせ4月からまた改めて始動できる様にする。 また、満三歳児クラス・つくしんぼクラブのページ内容を写真などをもっと用いて充実を図っていきたい。

令和 7年度　幼稚園における自己評価

ルーテル羽村幼稚園

担当　年少　担任　　名前

A，B，C，D,の４段階評価。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

【項目】	【内容】	【自己評価】				【意見・改善策】
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	（1）園の教育理念や教育方針を理解している	○				
	（2）園の教育方針に共感している	○				
	（3）園の目指す幼児の姿を具体的にイメージ出来る	○				
	（4）目標は前年度の反省を生かしているか。	○				
指導計画について	（1）園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている	○				指導計画は、子どもたちが楽しめるようにクラスに合った物を考えるようにしようと心掛けてはいた。　ただ、行事に向けての準備などで忙しくなると、新しい集団遊びなどを取り入れ保育を行う事が少なく感じた。同じ集団遊びをし、マンネリ化していたため、改善していきたい。
	（2）指導計画は幼児の実態に即して作成しているか。	○				
	（3）指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子・予想されるこれからの生活などを考慮して作成している		○			
	（4）指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直し、幼児の実態に対応できるよう作成している		○			
	（5）短期の指導計画は自由に変更できるよう順応性のあるものにしている		○			
	（6）指導計画は幼児の生活が豊かになるよう、幼児の実態に合わせている	○				
環境の構成	（1）安全で清潔感のある環境構成をしている		○			
	（2）幼児が自ら活動を展開していける様な場や空間を構成している		○			
	（3）遊びに必要な遊具や、用具の質、数量を配慮して用意している		○			
	（4）楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている	○				
	（5）幼児の発想を柔軟に取り入れている	○				
	（5）幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている	○				
	（6）異年齢の幼児が自然に交流できるよう環境構成をしている	○				

保育・教育の評価・反省	（1）自分の教育・保育の計画の評価・反省を行うようにしている		○			
	（2）評価・反省を次の教育・保育に生かせるよう行っている	○				
	（3）職員が互いに保育を検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育に繋げている	○				
健康と安全への配慮	（1）朝の登園時は視診を大切にし幼児の体調を確かめている	○				
	（2）幼児の体調が悪そうな時は静かに寝かせたり、検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡をしている	○				
	（3）怪我や事故には特に気を付け、年齢に応じた適切な環境構成や言葉がけをおこなっている	○				
	（4）園内に危険な個所がないか、危険な遊び方がないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかを常に観察している	○				
	（5）危険が予測される場合は、幼児たちと一緒に見たり、考えたりして安全な使い方。遊び方について気づくことが出来るようにしている	○				
幼児の理解	（1）一人ひとりの幼児をよく観察するよう心掛けている	○				
	（2）幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている	○				
	（3）幼児同士の関わりの中で心の動きについても推察するようにしている	○				
	（4）一人ひとりの幼児をじっくり見ながら、周囲にも目を向けるよう心掛けている	○				
	（5）幼児たちが今、興味・関心を持っていることを気づくことが出来る		○			
	（6）幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている	○				
	（7）幼児の理解のために保護者と話し合う事がある		○			
	（8）幼児の姿を家庭での生活をふまえて理解している	○				
保育の在り方・幼児への対応	（1）幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている	○				活動の切り替えの際に、子どもたちを少し急がせてしまう言葉を掛けてしまう場面もあったため気を付けていきたい。
	（2）幼児とのスキンシップをとる様にしている	○				
	（3）幼児一人ひとりの良さを認めるようにしている	○				
	（4）幼児の話をよく聞くようにしている	○				
	（5）幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している		○			
	（6）幼児が行き詰っている時に適切な援助を行っている	○				
	（7）幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている		○			
	（8）幼児を誉めたり、励ましたり、目当てをもたせるような言葉かけをしている	○				
	（9）禁止・行動を急がせたり，自信を失わせる言葉や態度は控えている		○			
	（10）"一人ひとり"と"みんな"の関係を常に考えながら関わっている	○				
	（11）幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている		○			

保育者同士の連携	（1）クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている	○				
	（2）幼児の事について常に保育者同士で話し合い、クラスをこえて情報を共有している	○				
	（3）教師全員が、すべての園児についてある程度理解できるようにしている	○				
	（4）指導上配慮を必要とする幼児については全体でよく話し合い、共通理解をもって対応するようにしている	○				
	（5）異年齢の幼児とも触れ合うよう工夫をしている	○				
	（6）担任教諭・チーム保育教諭が連携をし、日々の教育・保育や行事に向けて準備や進行を行えるようにしている	○				
その他	（1）保護者には子どもの様子を直接話したり、電話・連絡帳を使って伝えあっている	○				もう少し積極的に研修に取り組めると良かった。
	（2）保護者には、自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞くようにしている	○				
	（3）研修は自己課題をもって積極的に受けている		○			
	（4）教職員全員でひとつのチームであることを意識している	○				

令和 7年度　幼稚園における自己評価

ルーテル羽村幼稚園

担当　　年中　担任　　名前

A，B，C，D,の４段階評価。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

【項目】	【内容】	【自己評価】				【意見・改善策】
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	（1）園の教育理念や教育方針を理解している	○				
	（2）園の教育方針に共感している	○				
	（3）園の目指す幼児の姿を具体的にイメージ出来る	○				
	（4）目標は前年度の反省を生かしているか。	○				
指導計画について	（1）園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている	○				
	（2）指導計画は幼児の実態に即して作成しているか。		○			
	（3）指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子・予想されるこれからの生活などを考慮して作成している		○			
	（4）指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直し、幼児の実態に対応できるよう作成している		○			
	（5）短期の指導計画は自由に変更できるよう順応性のあるものにしている	○				
	（6）指導計画は幼児の生活が豊かになるよう、幼児の実態に合わせている		○			
環境の構成	（1）安全で清潔感のある環境構成をしている			○		・行事前は準備のものが多くなり、整理整頓がもっと必要だった。
	（2）幼児が自ら活動を展開していける様な場や空間を構成している		○			
	（3）遊びに必要な遊具や、用具の質、数量を配慮して用意している		○			
	（4）楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている	○				
	（5）幼児の発想を柔軟に取り入れている	○				
	（5）幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている		○			
	（6）異年齢の幼児が自然に交流できるよう環境構成をしている	○				

保育・教育の評価・反省	（1）自分の教育・保育の計画の評価・反省を行うようにしている		○			
	（2）評価・反省を次の教育・保育に生かせるよう行っている	○				
	（3）職員が互いに保育を検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育に繋げている	○				
健康と安全への配慮	（1）朝の登園時は視診を大切にし幼児の体調を確かめている	○				
	（2）幼児の体調が悪そうな時は静かに寝かせたり、検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡をしている	○				
	（3）怪我や事故には特に気を付け、年齢に応じた適切な環境構成や言葉がけをおこなっている	○				
	（4）園内に危険な個所がないか、危険な遊び方がないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかを常に観察している	○				
	（5）危険が予測される場合は、幼児たちと一緒に見たり、考えたりして安全な使い方。遊び方について気づくことが出来るようにしている	○				
幼児の理解	（1）一人ひとりの幼児をよく観察するよう心掛けている	○				
	（2）幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている	○				
	（3）幼児同士の関わりの中で心の動きについても推察するようにしている	○				
	（4）一人ひとりの幼児をじっくり見ながら、周囲にも目を向けるよう心掛けている	○				
	（5）幼児たちが今、興味・関心を持っていることを気づくことが出来る	○				
	（6）幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている		○			
	（7）幼児の理解のために保護者と話し合う事がある	○				
	（8）幼児の姿を家庭での生活をふまえて理解している	○				
保育の在り方・幼児への対応	（1）幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている	○				・進級・進学を見据えて、身支度で、マイペースすぎる時に急ぐことも必要と伝えた。
	（2）幼児とのスキンシップをとる様にしている		○			
	（3）幼児一人ひとりの良さを認めるようにしている	○				
	（4）幼児の話をよく聞くようにしている		○			
	（5）幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している		○			
	（6）幼児が行き詰っている時に適切な援助を行っている	○				
	（7）幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている	○				
	（8）幼児を誉めたり、励ましたり、目当てをもたせるような言葉かけをしている	○				
	（9）禁止・行動を急がせたり，自信を失わせる言葉や態度は控えている			○		
	（10）"一人ひとり"と"みんな"の関係を常に考えながら関わっている	○				
	（11）幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている		○			
	（1）クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている	○				

保育者同士の連携	（2）幼児の事について常に保育者同士で話し合い、クラスをこえて情報を共有している	○				
	（3）教師全員が、すべての園児についてある程度理解できるようにしている	○				
	（4）指導上配慮を必要とする幼児については全体でよく話し合い、共通理解をもって対応するようにしている	○				
	（5）異年齢の幼児とも触れ合うよう工夫をしている	○				
	（6）担任教諭・チーム保育教諭が連携をし、日々の教育・保育や行事に向けて準備や進行を行えるようにしている	○				
その他	（1）保護者には子どもの様子を直接話したり、電話・連絡帳を使って伝えあっている	○				・忙しく、なかなか研修を受けられない時もあるため、計画的に受けていきたいと思っている。
	（2）保護者には、自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞くようにしている		○			
	（3）研修は自己課題をもって積極的に受けている			○		
	（4）教職員全員でひとつのチームであることを意識している	○				

令和 7年度　幼稚園における自己評価

ルーテル羽村幼稚園

担当　　年長　担任　　名前　：．．．　＿

A，B，C，D,の４段階評価。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

【項目】	【内容】	【自己評価】 A	B	C	D	【意見・改善策】
保育・教育目標について	（1）園の教育理念や教育方針を理解している	○				
	（2）園の教育方針に共感している	○				
	（3）園の目指す幼児の姿を具体的にイメージ出来る	○				
	（4）目標は前年度の反省を生かしているか。	○				
指導計画について	（1）園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている	○				
	（2）指導計画は幼児の実態に即して作成しているか。	○				
	（3）指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子・予想されるこれからの生活などを考慮して作成している	○				
	（4）指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直し、幼児の実態に対応できるよう作成している	○				
	（5）短期の指導計画は自由に変更できるよう順応性のあるものにしている	○				
	（6）指導計画は幼児の生活が豊かになるよう、幼児の実態に合わせている	○				
環境の構成	（1）安全で清潔感のある環境構成をしている		○			行事などの衣装や準備をすすめていき時、物を棚に置きすぎてしまいことがあったため、収納したり、定期的に整理する。
	（2）幼児が自ら活動を展開していける様な場や空間を構成している	○				
	（3）遊びに必要な遊具や、用具の質、数量を配慮して用意している	○				
	（4）楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている	○				
	（5）幼児の発想を柔軟に取り入れている	○				
	（5）幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている	○				
	（6）異年齢の幼児が自然に交流できるよう環境構成をしている	○				

保育・教育の評価・反省	（1）自分の教育・保育の計画の評価・反省を行うようにしている	○				反省を自分の中でし、保育に生かしていたが、うまくいかないことがあった。
	（2）評価・反省を次の教育・保育に生かせるよう行っている		○			
	（3）職員が互いに保育を検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育に繋げている	○				
健康と安全への配慮	（1）朝の登園時は視診を大切にし幼児の体調を確かめている	○				
	（2）幼児の体調が悪そうな時は静かに寝かせたり、検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡をしている	○				
	（3）怪我や事故には特に気を付け、年齢に応じた適切な環境構成や言葉がけをおこなっている	○				
	（4）園内に危険な個所がないか、危険な遊び方がないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかを常に観察している	○				
	（5）危険が予測される場合は、幼児たちと一緒に見たり、考えたりして安全な使い方。遊び方について気づくことが出来るようにしている	○				
幼児の理解	（1）一人ひとりの幼児をよく観察するよう心掛けている	○				
	（2）幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている	○				
	（3）幼児同士の関わりの中で心の動きについても推察するようにしている	○				
	（4）一人ひとりの幼児をじっくり見ながら、周囲にも目を向けるよう心掛けている	○				
	（5）幼児たちが今、興味・関心を持っていることを気づくことが出来る	○				
	（6）幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている	○				
	（7）幼児の理解のために保護者と話し合う事がある	○				
	（8）幼児の姿を家庭での生活をふまえて理解している	○				
保育の在り方・幼児への対応	（1）幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている	○				
	（2）幼児とのスキンシップをとる様にしている	○				
	（3）幼児一人ひとりの良さを認めるようにしている	○				
	（4）幼児の話をよく聞くようにしている	○				
	（5）幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している		○			
	（6）幼児が行き詰っている時に適切な援助を行っている	○				
	（7）幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている	○				
	（8）幼児を誉めたり、励ましたり、目当てをもたせるような言葉かけをしている	○				
	（9）禁止・行動を急がせたり，自信を失わせる言葉や態度は控えている	○				
	（１０）"一人ひとり"と"みんな"の関係を常に考えながら関わっている	○				
	（１１）幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている	○				
	（1）クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている	○				

保育者同士の連携	（2）幼児の事について常に保育者同士で話し合い、クラスをこえて情報を共有している	○				
	（3）教師全員が、すべての園児についてある程度理解できるようにしている	○				
	（4）指導上配慮を必要とする幼児については全体でよく話し合い、共通理解をもって対応するようにしている	○				
	（5）異年齢の幼児とも触れ合うよう工夫をしている	○				
	（6）担任教諭・チーム保育教諭が連携をし、日々の教育・保育や行事に向けて準備や進行を行えるようにしている	○				
その他	（1）保護者には子どもの様子を直接話したり、電話・連絡帳を使って伝えあっている	○				研修をまとめて受ける事が多く、計画的に受ける事が反省。
	（2）保護者には、自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞くようにしている	○				
	（3）研修は自己課題をもって積極的に受けている		○			
	（4）教職員全員でひとつのチームであることを意識している	○				

令和７年度　幼稚園における自己評価

ルーテル羽村幼稚園

担当　満3歳児クラス　　名前

A，B，C，D,の４段階評価。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

【項目】	【内容】	【自己評価】				【意見・改善策】
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	（1）園の教育理念や教育方針を理解している	○				いつも、神様の愛を感じられる様，保育の中にもお祈りをする時間や、礼拝に積極的に参加した。
	（2）園の教育方針に共感している	○				
	（3）園の目指す幼児の姿を具体的にイメージ出来る	○				
	（4）目標は前年度の反省を生かしているか。	○				
指導計画について	（1）園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている	○				
	（2）指導計画は幼児の実態に即して作成しているか。	○				
	（3）指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子・予想されるこれからの生活などを考慮して作成している	○				
	（4）指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直し、幼児の実態に対応できるよう作成している	○				
	（5）短期の指導計画は自由に変更できるよう順応性のあるものにしている	○				
	（6）指導計画は幼児の生活が豊かになるよう、幼児の実態に合わせている	○				
環境の構成	（1）安全で清潔感のある環境構成をしている		○			・清潔に保つ様心掛けてはいたが、もう少し細やかに掃除をするように気を付けていきたい。 ・異年齢の幼児との関わりを持てるように保育室を開放したり、他クラスの保育に合わせ園庭で一緒に遊んだりできるよう意識した。
	（2）幼児が自ら活動を展開していける様な場や空間を構成している	○				
	（3）遊びに必要な遊具や、用具の質、数量を配慮して用意している		○			
	（4）楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている	○				
	（5）幼児の発想を柔軟に取り入れている	○				
	（5）幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている	○				
	（6）異年齢の幼児が自然に交流できるよう環境構成をしている	○				

保育・教育の評価・反省	（1）自分の教育・保育の計画の評価・反省を行うようにしている	○				
	（2）評価・反省を次の教育・保育に生かせるよう行っている	○				
	（3）職員が互いに保育を検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育に繋げている	○				
健康と安全への配慮	（1）朝の登園時は視診を大切にし幼児の体調を確かめている	○				
	（2）幼児の体調が悪そうな時は静かに寝かせたり、検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡をしている	○				
	（3）怪我や事故には特に気を付け、年齢に応じた適切な環境構成や言葉がけをおこなっている	○				
	（4）園内に危険な個所がないか、危険な遊び方がないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかを常に観察している	○				
	（5）危険が予測される場合は、幼児たちと一緒に見たり、考えたりして安全な使い方。遊び方について気づくことが出来るようにしている	○				
幼児の理解	（1）一人ひとりの幼児をよく観察するよう心掛けている	○				・初めての園生活に、不安を感じている子ども・保護者に安心してもらえるよう、コミュニケーションを大切にすることを常に意識していた。
	（2）幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている	○				
	（3）幼児同士の関わりの中で心の動きについても推察するようにしている	○				
	（4）一人ひとりの幼児をじっくり見ながら、周囲にも目を向けるよう心掛けている	○				
	（5）幼児たちが今、興味・関心を持っていることを気づくことが出来る	○				
	（6）幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている	○				
	（7）幼児の理解のために保護者と話し合う事がある	○				
	（8）幼児の姿を家庭での生活をふまえて理解している	○				
保育の在り方・幼児への対応	（1）幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている	○				
	（2）幼児とのスキンシップをとる様にしている	○				
	（3）幼児一人ひとりの良さを認めるようにしている	○				
	（4）幼児の話をよく聞くようにしている	○				
	（5）幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している	○				
	（6）幼児が行き詰っている時に適切な援助を行っている	○				
	（7）幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている	○				
	（8）幼児を誉めたり、励ましたり、目当てをもたせるような言葉かけをしている	○				
	（9）禁止・行動を急がせたり，自信を失わせる言葉や態度は控えている	○				
	（１０）"一人ひとり"と"みんな"の関係を常に考えながら関わっている	○				
	（１１）幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている	○				

保育者同士の連携	（1）クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている	○				・休憩時間に職員が集まり、今日一日の子どもたちの様子や、気にかけてほしい事などの情報を話し合っている為、クラスに関係なく一人ひとりの子どもの成長を様々な視点や立場で見守ることができた。
	（2）幼児の事について常に保育者同士で話し合い、クラスをこえて情報を共有している	○				
	（3）教師全員が、すべての園児についてある程度理解できるようにしている	○				
	（4）指導上配慮を必要とする幼児については全体でよく話し合い、共通理解をもって対応するようにしている	○				
	（5）異年齢の幼児とも触れ合うよう工夫をしている	○				
	（6）担任教諭・チーム保育教諭が連携をし、日々の教育・保育や行事に向けて準備や進行を行えるようにしている	○				
その他	（1）保護者には子どもの様子を直接話したり、電話・連絡帳を使って伝えあっている	○				・研修は積極的にとは取り組めなかった為、来年度は、今特に何を学びたいことを中心に調べ受けていきたい。
	（2）保護者には、自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞くようにしている	○				
	（3）研修は自己課題をもって積極的に受けている		○			
	（4）教職員全員でひとつのチームであることを意識している	○				